
2 5 2 1 . 積付結果訂正（U L D単位）

業務コード	業務名
U L U	積付結果訂正（U L D単位）呼出し
U L U 0 1	積付結果訂正（U L D単位）

1. 業務概要

あらかじめULDに積み付けられた輸出貨物情報をULD単位で呼び出し、訂正を行う。

(1) 「積付結果訂正（ULD単位）呼出し（ULU）」業務の場合

ULD番号を入力することにより、ULD番号に関連付けられた輸出貨物情報（AWB番号、積付可能個数、積付重量等）の呼出しを行う。

(2) 「積付結果訂正（ULD単位）（ULU01）」業務の場合

登録されている輸出貨物情報（積付可能個数、積付重量等）の訂正を行う。

2. 入力者

航空会社、航空貨物代理店、通関業、混載業、保税蔵置場

3. 制限事項

1業務で入力可能なAWB件数は最大12件とする。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②他所蔵置場所での積付の場合は、他所蔵置許可申請の申請者であること。
- ③システム不参加展示場での積付の場合は、展示等積戻し申告の申告者であること。
- ④自社施設での積付の場合は、特定輸出申告の申告者であること。
- ⑤特定委託輸出申告におけるバスケット保税地域での積付の場合は、特定委託輸出申告の申告者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 輸出貨物情報DBチェック

- ①入力されたAWB番号が、輸出貨物情報DBに存在すること。
- ②貨物が入力された保税蔵置場に蔵置されていること。
- ③手作業移行済貨物でないこと。
- ④貨物差し止め登録がされていないこと。
- ⑤貨物取扱中でないこと。
- ⑥搬入情報訂正承認保留中の貨物でないこと。
- ⑦貨物取扱許可申請中または見本持出許可申請中でないこと。

(4) 輸出便情報DBチェック

ULDに便割当がされている場合は、輸出便情報DBが存在し、ULDが登録されていること。

(5) ULD情報DBチェック

- ①入力されたULD番号がULD情報DBに存在すること。
- ②ULDが入力された保税蔵置場に蔵置中であること。
- ③ULD情報DBに積込港が登録されている場合は、入力された積込港と同一であること。
- ④搬出処理または搭載処理中の場合は、入力者は航空会社であること。
- ⑤入力者が航空会社の場合は、入力者の管理する保税蔵置場に蔵置されていること。
- ⑥入力者が航空会社以外の場合は、入力者がULD積付けを行っているか、入力者の管理する保税蔵置場に蔵置されていること。

⑦ULDに1件以上のAWBまたはHAWBが積み付けられていること。

⑧処理識別に「U」（訂正）が入力された場合は、入力されたAWB番号がULDに登録されていること。

5. 処理内容

（1）ULLU業務の場合

（A）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（B）輸出貨物情報抽出処理

入力されたULD番号に基づき、輸出貨物情報DBから積み付けられた輸出貨物情報を抽出する。

（C）出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

（D）注意喚起メッセージ出力処理

①登録を行うには再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして出力する。

②抽出条件に対する対象データが残存する場合は、その旨を注意喚起メッセージとして出力する。

（2）ULLU01業務の場合

（A）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（B）輸出貨物情報DB処理

処理識別に「U」（訂正）が入力された場合は、ULD積付情報を更新する。

（C）ULD情報DB処理

ULD積付情報を更新する。

（D）輸便情報DB処理

ULDに搭載便割当てがされている場合、または積付けたAWB番号に搭載便割当てがされている場合、ULD積付情報を登録する。

（E）貨物情報抽出処理

入力された抽出条件に対する輸出貨物情報がULD情報DBに残存する場合は、前述の輸出貨物情報抽出処理を再度行う。

（F）出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

（G）注意喚起メッセージ出力処理

①抽出条件に対する対象データが残存する場合は、その旨を注意喚起メッセージとして出力する。

②登録を行うには再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして出力する。

6. 出力情報

(1) U L U 業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
積付結果訂正 (U L D 単位) 呼出し結果情報	なし	入力者

(2) U L U O 1 業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
積付結果訂正 (U L D 単位) 呼出し結果情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) AWB 番号の抽出が行われた後も処理対象データが残存している (2) 処理識別に「E」(登録終了)の旨が入力されていない	入力者
積付 U L D 情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) システムに登録されている U L D 情報と入力された U L D 情報に差異があった (2) 航空会社または保税蔵置場の場合で、積付 U L D 情報を出力する旨が、システムに登録されている	入力者
積付結果登録情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 積み付けられている貨物がすべて許可済みである (2) 訂正が行われた貨物がある (3) 積付結果登録情報を出力する旨が、システムに登録されている	入力者
積付結果保留情報	以下の条件をすべて満たすとき、未許可貨物の情報を出力する (1) 訂正が行われた貨物に未許可貨物がある (2) 積付結果保留情報を出力する旨が、システムに登録されている	入力者